

第68回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和6年2月16日（金）午後6時30分～午後7時50分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 9人

委員長 繁 田 進 委員

副委員長 金 尾 悠 香 委員

委 員 南 貴 之 委員 岡 田 一 美 委員

鴨 下 明 子 委員 中 村 彰 宏 委員

山野井 礼 奈 委員 北 村 高 委員

水 落 俊 也 委員

欠席委員 3人

中 村 真 子 委員 須 藤 夏 生 委員

橋 田 壤 志 委員

---

事務局職員

企画政策課長 富 田 絵 実

企画政策課係長 中 島 広 樹

企画政策課主任 野 村 啓 介

企画政策課主事 金 信 沙 樹

ファシリテーター

受託事業者

---

傍 聴 者 1人

（午後6時30分開会）

◎繁田委員長 第68回市民参加推進会議を開始します。本日、中村真子委員、橋田委員、須藤委員から欠席の連絡が入っております。また、中村彰宏委員と山野井委員から遅れるという連絡をいただいております。定足数については、市民参加条例施行規則第24条に、半数をもって成立することになっております。ただいま12人中7人御出席をいただいておりますので、本推進会議は成立しているということで、御報告申し上げます。それでは、会議に先立ちまして、配付資料の確認を事務局からお願いします。

◎事務局 お手元に配付させていただいた資料は、まず次第が1枚、その下に、資料1から4までございます。資料1が意見提案シート、資料2が若者MIRAIトークについてという資料です。資料3、若者の市政参加に向けた今後の取組の方向性についてという資料です。資料

4が、第9期市民参加推進会議の行程表になりますので御確認ください。不足等ございましたらお声がけください。もし途中で何かお気づきがありましても、お声がけください。

◎繁田委員長 ありがとうございます。山野井委員が来られましたので、御紹介させていただきます。今期の途中で、無作為抽出による公募市民枠選出の委員の1人が御都合により辞任されましたので、改めて、無作為抽出により委員を選出し、この度、山野井委員が就任されました。お名前と簡単に自己紹介をお願いします。

◎山野井委員 山野井です。ふだんは看護師として働いていて、生まれてからずっと小金井に住んでいます。よろしくお願いします。

◎繁田委員長 よろしく申し上げます。委員長を仰せつかっております東京学芸大学の繁田と申します。よろしくお願いします。

◎金尾副委員長 副委員長の金尾と申します。よろしくお願いします。

◎繁田委員長 皆様、一言ずつお願いいたします。

◎南委員 私もずっと小金井で生まれ育っております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎岡田委員 主人の転勤で、こちらには8年目になります。よろしくお願いいたします。

◎鴨下委員 私も生まれてずっと小金井です。よろしくお願いします。

◎北村委員 総務部長をしています北村と申します。よろしくお願いします。

◎水落委員 企画財政部長の水落と申します。よろしくお願いします。

◎事務局 小金井市企画政策課長をしております富田と申します。よろしくお願いします。今日は、受託事業者の皆さんにも来てもらっております。後ほど御紹介いたします。

続きまして、議論に入る前に、資料1として、若者討議会を傍聴された方から「意見・提案シート」を御提出いただいております。意見・提案シートの取扱いについて御説明させていただきます。

意見・提案シートについては、資料とした上で、皆様から審議に取り上げたいとお申出があった場合には審議を行うということとなっておりますので、今回いただいたもののお取扱いを御協議いただきたいと思います。委員長、お願いします。

◎繁田委員長 繁田です。傍聴の方から「意見・提案シート」をいただきました。内容を皆さんにも読んでいただければと思いますが、審議というよりも、いただいた御意見を共有できればよろしいかなと思いますが、いかがですか。これについて、審議が必要かどうか御意見のある方はいらっしゃいますか？

(意見・採決等)

◎繁田委員長 それでは、こちらはお読みいただいて、これからの議論の参考にさせていただきたいと思います。

令和5年7月13日に開催した市民参加推進会議にて、第9期のテーマを若者等サイレント層の市政の興味関心を惹起し、継続的な市民参加のための検討とすることを決定いたしましたところでございます。本日は、事務局及び若者討議会の運営等の委託業者であります受託事業者よ

り、若者討議会全般について御報告をいただき、今後の提言に向けて議論していくという流れでございます。

---

◎繁田委員長 それでは、お手元の次第に沿って進めてまいります。初めに次第1、若者討議会についてです。事務局からお願いします。

◎事務局 先ほど繁田委員長からも御説明がありましたとおり、令和5年7月13日に開催した市民参加推進会議において、今期のテーマを若者等サイレント層の市政への興味関心を惹起し、継続的な市民参加のための検討とすることが決まりました。会議の中で、委員の皆様は若者討議会の方向性などについて御検討いただき、昨年11月から12月にかけて、全3回の若者討議会を実施いたしました。同年12月23日に開催した若者討議会最終回では、市民参加推進会議と同時開催とさせていただきます、多くの委員の皆様は御出席をいただきました。ありがとうございました。

御報告に先立ちまして、改めて若者討議会の実施までの経過を、まずは資料2を使って御説明をさせていただきます。前方のパワーポイントに表示しますので御覧ください。

◎事務局 若者MIRAIトークの経過について御説明させていただきます。資料や市民参加推進会議の中では、便宜上「若者討議会」としておりますが、ここでは通称の若者MIRAIトークとさせていただきます。

今回開催したワークショップは、若者が、本市における地域課題やテーマに対する課題について若者目線で考え、話し合うワークショップです。昨年11月から12月にかけて計3回実施しました。対象は市内在住、在学、在勤の若者で、若者の対象年齢は18歳から39歳と設定しました。募集人数は最大30人とし、公募と無作為抽出という2つの方法で募集しました。昨年7月13日に開催した市民参加推進会議の中で、普段市政にあまり関心のない方、市政に積極的に意思表示してこなかった方が参加されることを想定したワークショップにおいて、どのような内容・運営であれば活発な議論となり、今後の継続的な市政参加意欲を高めることが出来るか、どのような点に留意すべきかなどを中心に、委員の皆様は話し合ってくださいました。

実際の若者MIRAIトークについてですが、小金井市のいいところ、悪いところや、自分の好きなことや得意なことを生かして、まちの未来づくりのためにやってみたいこと、また、それを具体化するためのアイデアなどについて、参加者の皆様に意見を出し合ってください、3回目の最終日には、グループごとに考えたアイデアや、参加前と参加後の意識の変化などについて、発表していただきました。最終回については、今回御参加いただいた委員の皆さんも御覧いただいております。

若者MIRAIトークの運営についてですが、公募型のプロポーザルにて事業者の募集をかけました。資格審査、一次の書類審査、二次のプレゼンテーション審査を経て、受託事業者に委託を決定しました。当該事業者は、参加者募集のための広報物の作成や、ワークショップの

内容の検討、事前・事後のアンケートの内容の検討、当日のファシリテートと、多方面から御協力いただきました。

若者MIRAIトークの背景についてですが、過去の市民参加推進会議において、若者の市民参加や幅広い市民参加の推進について提言をいただいている経過がございます。それらの提言を受けて、多様な市民参加、市民の市政参加機会を拡充してきたところではありますが、現状として、市民参加していただいている方が固定化している、年齢層に偏りがあるという課題がありました。

今回の若者MIRAIトークは、今まで市政にあまり関わってこなかったサイレント層の方々に御参加いただくということを想定しました。

若者MIRAIトークの目的ですが、参加者の若者同士で意見交換をする中で、ワークショップ自体が市政や地域課題について身近に感じられる機会となり、また、そういった機会を体験したことによって、今後、様々な附属機関や、地域の活動への参加や市政の関心を持っていただくことの第一ステップとなるよう、ワークショップの内容を設定いたしました。

当日は、スライドにもありますとおり、場面によって異なるBGMを設定する、申込みやアンケートをスマートフォンから回答できるようにする、メンバー同士のコミュニケーション手段としてLINEのオープンチャットを活用するなど、初対面の方々でも、より和やかな雰囲気活発に議論ができるよう環境やツールを工夫し、ワークショップを進めてまいりました。

募集期間についてです。当初の募集期間ですと、応募者が想定人数に届かなかったことから、募集期間を延長いたしました。最終的に28人の方に御参加いただきました。参加者の内訳としましては、資料の数字になっております。駆け足となりましたが、若者MIRAIトークの経過についての報告は以上となります。

◎事務局 続きまして、受託事業者より、若者討議会の実施概要、事前と事後のアンケート結果及び当日の様子について、参考資料と動画を用いて御説明をさせていただきます。受託事業者の皆さん、よろしくお願いいたします。

◎受託事業者 1番目、若者MIRAIトークの実施概要でございます。2番目が、参加者の動向、どういった方が参加されたのか、どういった理由で参加されたのかというところを御説明させていただきます。3番目、こちらが市民参加意識に対する効果検証です。実際に、今回、若者MIRAIトークを実施してみてどうだったかという点についてお話をさせていただきます。最後に、当日の様子など、写真と動画を使って皆さんとイメージを共有させていただきたいと思っています。

1番目、若者MIRAIトークの実施概要でございます。こちらについては、先ほど事務局から御説明いただいたものと重複する部分もございますので、簡略化して御説明させていただければと思っております。

開催目的についてですが、若者の市政への興味・関心を惹起し、今後の継続的な市民参加を図ることを目的としています。開催日程は、3日間で設定しました。

皆様におかれましては、こちらの一番右側にありますDAY 3の部分、12月23日に御出席を賜りまして、参加者からの発表を聞いていただきました。DAY 1、まずは小金井市のいいところや、改善が必要なところを踏まえて、どういったところを未来像としてやってみたいかなど、アイデア出しをしました。DAY 2については、各班で出したテーマに関して、それをより具体化し、深く掘り下げる作業を行っていただきました。そしてDAY 3が発表の準備と、最後皆様への発表といった形のDAY 1からDAY 3の全体の流れでこのワークショップを実施させていただきました。

こちらのDAY 1とDAY 3の発表内容については、今あちらに掲示をされておりますグラフィックレコーディングといった形で記録をとりました。どういった意見があったのかといったものを文字だけではなく、絵を用いて体系的に分かりやすく取りまとめました。

続いて、実施概要の最後の部分ですが、募集方法、実施方法において、こちらで工夫した点を記載しています。

参加者の募集に当たりましては、無作為の抽出、市報への掲載、SNSの活用、市内の大学等と協力してを周知を行うなど、多様なアプローチにより、参加者を募集いたしました。

その後、申込受付については、応募用紙の紙ベースの提出と、もう一つインターネットからも申込みが出来るようにしました。申込方法に複数の選択肢を設けることで、参加者の参加のハードルを下げるよう工夫しました。こちらについては、多くの参加者がインターネットからの受け付けを選択されたといったような状況でした。

開催期間中の連絡・情報共有についてですが、LINEのオープンチャットという個人情報がでないようなプラットフォームやロゴフォームを活用しました。DAY 1からDAY 3は若干期間が空く中ではありましたが、情報交換できるような仕組みを構築して、情報共有を活性化させながら各班御議論いただきました。

加えてアンケートについては、若者MIRAIトークの参加前と参加後で2つのアンケートを実施しました。これらのアンケートはウェブを活用し、回答しやすさを重視しました。以上が実施概要です。

続きまして、参加者の動向でございます。こちらについては、参加者の属性、どういった方が御参加されたのか、どういったきっかけで今回参加したのかといった2つのスライドを用いてお示しさせていただきます。

性別については、若干男性のほうが多く、女性が34.6%という結果でした。年齢については、比較的バランスよく、20代以下が57.7%、30代の方が42.3%といった方に、御参加いただきました。

居住地は、市内在住の方が14名、53.8%で、市外在住ですけれども、市内在勤ですとか、在学といった形で、小金井市に関わりを持たれているといった方が12名、46.2%といった方で、バランスよく御参加いただいたような結果が得られたところでございます。

続いて、参加のきっかけについてです。まずは上にある縦の棒グラフを御覧ください。「⑤

大学からのお知らせ」と、「⑦無作為の通知が届いた」がトップ2で多かったということでございます。

下の表を御覧ください。年代別でみると、20代の方は「⑤大学からのお知らせ」をきっかけに参加された方が多く、30代の方は「⑦無作為の通知が届いた」ことをきっかけに参加された方が多かったです。以上が参加者属性と参加のきっかけです。

次に、市民参加意識に対する効果検証でございます。実際に今回、若者MIRAIトークを実施してみてもうだったのかという点についてまとめています。

まずは、各班の発表テーマの概要を御説明させていただきます。今回のワークショップは、「まちの未来像に寄与する若者が起点となるアクションの具体化」という方向で、参加者の皆さんに議論していただきました。具体的に出た意見としては、地元・地域の人との交流を促進したい、市への愛着や帰属意識を高めたいというような意見が非常に多かったです。その中でも、2班、4班、5班の計3つの班が地域の交流イベントの開催というようなテーマで議論していました。1班と6班の2つの班は、交流の活性化の仕組みづくりといった切り口で、3班は、子育て支援の拡充という切り口で、議論されていました。

続いて、参加者が参加する前と参加した後で、参加者自身と市政に対する意識がどう変化したかという点に着目しています。まずは左側の参加者自身といったところ、こちらについては、参加者自身にとって、小金井市が身近になった、あとは魅力を再発見できたというような意見が多くございました。自分の町に対する意識の変化があったのではないかと感じております。

右側の市政に対する意識のところでございます。こちらも参加前ですと、期待が薄いというような意見や、あまり分からないというような意見など、あまりプラスとは言えないような意見があった中で、若者MIRAIトークへの参加後、市役所の職員を含む市政の関係者と接したことで市民参加への意欲が高まったといったところを読み取れるような意見が多数ございました。以上が、市政への参加意識等の変化についてまとめたものになります。こちらアンケートの結果を抜粋して、3つについて御説明させていただきます。まず、市政の興味度については、事前のアンケートにおいて市政の興味度を図ったところ、興味がある、またはどちらかといえば興味があるといった回答が77%と比較的高い数値でした。他方で、どちらとも言えない、あとは興味がないと回答した方も23%いたるところが目すべきポイントだと捉えています。

こういった若者MIRAIトークというイベントに参加するという層の中でも、どちらとも言えない、興味がないといったような回答をする方もおられたというのが事前アンケートの結果でございました。

そして事後アンケート、市政の興味度の変化です。実際に参加したことにより、参加者全員から興味が増えた、またはどちらかと言えば興味が増えたといったような回答が得られております。本取組みをとおして、もともと興味があった人に対してはその興味度が増大し、また、もともと興味がないといったような層については、興味喚起に寄与したというように考えられ

ます。

続いて、興味・関心のある市政の分野についてです。ここでは、行政運営について、興味・関心が深まったといったところがポイントとして挙げられると思います。事前アンケートでは、興味・関心のある市政の分野における行政運営は全体のうち4番目の回答数で、あまり多くはないような結果でしたが、事後アンケートでは、2番目に多い回答数となっています。

事前アンケートも事後アンケートも、子どもと教育分野が1番であることは変わりませんでした。本取組のようなワークショップに参加したことで、行政や市政に興味をわいたのではないかと考えられます。

次に、アンケートの分析結果の市民参加の意向のところですが。事前アンケートで、現在の市民参加状況を聞きました。こちらの中では、参加・活動したことがないという回答が13件、最も多い回答数を得られたという状況でした。

次に、事後アンケートで、若者MIRAIトークの参加を通じて、今後の各種市民参加機会における参加意向について聞きました。多くの方から、興味がある・参加したいという回答でした。このことから、こういった機会の拡充に取り組むことによって、若者の市民参加促進のきっかけになるのではないかとまとめています。以上が、市民参加意識に対する効果検証の説明です。

最後に、総括でございます。若者MIRAIトークをとおして、興味度・関心が増大し、今後の市民参加機会にも参加したいというような意見を多数いただき、前向きな印象の方が多いようでした。加えて、ワークショップの期待値と満足度、については、期待値以上に、満足度も高かったといったところが見受けられます。こういったことから、若者の市民参加のきっかけとして、今回の若者MIRAIトークが効果的な取組であったと考えられます。そうした中で、特に、今回のワークショップが良かった点について、事後アンケートのところで、参加すること自体が貴重な経験となったという回答が一番多い回答でした。こうした取組を開催すること自体が、市民参加のきっかけづくりとなり、そして有用になるだろうと考えられます。加えて、他の参加者とのつながりができたという回答も多くございました。

また、参加したいと思う市民参加機会の実施方法については、この中で一番多かったのがいわゆるオフライン型、指定の時間・場所で参加できるようなもの、今回の若者MIRAIトークのような対面で実施するようものを望まれる意見が一番多くございました。他の参加者とのつながりができたといったような回答と照らし合わせて、若者の市民参加を促進するにあたっては、こういった人とのつながりといったものを生み出すことが重要なだろうと考えられると結論付けています。以上が、市民が参加意識に対する効果の全体の発表です。

以降は、参考資料となります。当日の様子やインタビューの様子を動画で御報告いたします。各班発表の様子と、発表後のフィードバック、発表用ワークシートをそれぞれ掲載させていただいております。こちらが1班と2班、それから3班、4班、5班、6班と続いております。それでは御覧ください。

(動画)

◎受託事業者 私からの発表は以上です。御清聴ありがとうございました。

◎事務局 受託事業者の皆様、ファシリテーターの齋藤さん、ありがとうございました。続きまして、事務局より、若者討議会で見えてきた市民参加における課題や今後の取組の方向性について、資料番号3の資料を使って御説明させていただきます。画面のほうにも表示いたしますので併せて御覧ください。

◎事務局 右上、資料番号3、若者の市民参加に向けた今後の取組の方向性について御説明いたします。課題の全体像についてです。市民参加意識に対してポジティブな意見が得られた一方で課題も見えてまいりました。課題として3点挙げられます。情報発信における課題として、市からの情報が市民に対して効果的に届いていないこと、市民参加機会の課題として、市民参加機会を経験してもらえる機会の検討が必要なこと、今後につなげる方策の課題として、市民参加のきっかけから審議会等への参加につなげる検討が必要なことの3つになります。

続きまして、スライド3ページ目、課題その1、情報発信における課題です。

右側の事前アンケートでは、若者討議会への参加のきっかけとして、⑤の大学からのお知らせ、⑦の無作為抽出の通知が多い一方、①の市のホームページ、②の市報、⑥の市のXからの参加申込みが少なく、能動的に参加された方が少なかったことが分かりました。また、左側、事後アンケートの⑦の取組の情報が得られない、⑧の参加方法が分からないということも分かりました。情報が効果的に届けられていないと思われまます。したがって、情報発信方法の工夫が必要と考えます。

続きまして、スライド4ページ目、課題その2、市民参加機会の課題です。事前アンケートでは、市政への興味度について、約2割の方が、どちらとも言えない、または興味がない方でした。その後、討議会参加後のアンケートでは、全ての方が、①の興味が湧いた、または②のどちらかといえば興味が湧いたという回答をしています。したがって、まず、経験してもらうことが市民参加につながるきっかけとなることが分かりました。

続きまして、スライド5ページ目、課題その3、今後につなげる方策の課題です。

左側、事前アンケートでは、半数の方が、市民参加したことがないと回答がありましたが、右側、若者討議会参加後のアンケートにおいては、次年度以降の市民参加に対して前向きな意見が得られていることから、市民参加のきっかけを促進していく取組が必要です。

続きまして、スライド6ページ目、今後のアクションの全体像です。

見えてきた課題を踏まえ、①知ってもらう、そして、若者世代へ積極的に情報発信し、市民参加の機会を届ける、②経験してもらうとして、市政に対して興味を持つことで、市民参加へのきっかけをつくる、③審議会等へ参加してもらうとして、市民参加のきっかけづくりを促進し、審議会等へ参加してもらう取組が必要と考えます。

続きまして、スライド7ページ目、今後のアクションの①知ってもらうについてです。

アンケート結果から、大学を通じた広報活動や無作為抽出からの参加者が多かったことから、

大学等への周知、無作為抽出の強化、そして市報やSNSなど、多くのチャンネルでの周知継続が必要と考えます。また、少数ではあったものの、全ての活動が参加のきっかけともなっているため、今後の広報活動も多様なチャンネルを用いて実施してまいります。

続きまして、スライド8ページ目、今後のアクションの②経験してもらうについてです。

アンケート結果によると、若者討議会参加後には、全員が市政への興味が湧いたと回答していることから、市民参加を経験していただくため、その機会の拡充を検討していきます。

続きまして、スライド9ページ目、今後のアクションの③審議会等に参加してもらうについてです。

若者討議会のアンケート結果等を全庁へ周知し、全庁を挙げて様々な分野の各種市民参加機会を拡充し、先に御説明しました継続的な②のアクションの取組が重要であると考えます。また、このような取組が、市民参加のきっかけづくりを促進し、より能動的に、そして継続的に市民参加をしていただくために、審議会や地域活動への参加につながるものと考えます。資料3の説明は以上です。

◎事務局 参加者のアンケートを拝見しましても、前向きな意見をたくさんいただいております。当日は非常に和やかな雰囲気の中で、活発な御議論をいただくことができたのではないかと考えております。

今回の会議は、3回にわたるワークショップであり、市や市政にあまり興味の少なかった方も含めた皆さんには、若干ハードルが高い機会であったかと思いますが、ほとんどの方が最終回の最後まで御参加を積極的にいただいたというところは非常によい機会だったのではないかと考えております。このような機会が市や地域や市政の関心を持っていただくきっかけとなることが実証的に検証できたのではないかと考えております。事務局からの説明は以上となります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。昨年12月に参加された委員の皆さん、当日は感想などのコメントをいただき、ありがとうございます。皆さんの御協力もあって、無事に若者討議会が終了いたしました。ここで皆様に、若者討議会で見えてきた市民参加における課題や今後の取組の方向性について、御意見をいただきたいと思います。それでは、副委員長から時計回りでいきたいと思っております。

◎金尾副委員長 受託事業者の方、詳細な御報告をありがとうございます。当日、発表の回に参加させていただいて、各班の発表自体、大変興味深かったなと思っております。その上で、市民参加推進会議としては、いろいろいただいたアンケート結果とかを詳細に見ていかなきゃいけないのかなと思っております。

一番初めに思いますのは、参加前と後で意識が大きく変化されているというのは、データとして出てきているのが大きいかなと、意欲が大きく変化し、消極的な、「興味がない」「どちらかといえばない」というところから、恐らくほぼ全員が積極的な、「市民参加に興味がある」「どちらかといえばある」というふうに変換しているという意欲変化が一番重要なところか

なという感想を抱いております。

そのきっかけ自体、入り口自体、参加が大変大切という、入り口まで引っ張ることができたら転換できるということであれば、入り口の参加自体をどうやって促進するかというところは大変重要なのかなと思っております。

その中で、無作為抽出や大学からの呼びかけといった地域連携が大事というお話、その数値が高かったという御説明を受けたところでもあります。無作為抽出の仕組みの活用、地域連携、あとは、恐らく1回経験された方から拡大していくという、輪の広がりが恐らく大事になってくるのではないかと、能動的な市民参加という入り口の点はそういうふうに感じました。

継続性のほうについては、100%から若干どうなるか分からないという不安もあって、継続性というのは100%とはいかなかった、でも前向きというところを取りこぼさないようにしていくところが大事で、ワークショップは、きっかけに過ぎなくて、その先の審議会とか地域活動とかに参加を、興味から参加をつなげていける継続性のほうも考えていかなきゃいけないかなと思った次第です。大変興味深く拝聴いたしました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。では、南委員、お願いします。

◎南委員 アンケート、実施報告書等を見せていただいて、参加のきっかけと参加する上での課題は、私の中で非常に驚いた結果になっています。私の中では、今回、MIRAIトークで参加してくださった方が、20代から30代ということだったので、もっとインターネット等から参加しているのかなと思っていたのですが、市のX、市長のブログから来たという方がかなり少ない数だったのが驚いたところです。この事後のアンケート、取組の情報が得られない、参加の方法が分からない、仕組みが分からない、僕もいまだにこの委員会以外のことはあまり見ていないので、興味がないというのもおかしいのですが、もっと見やすい、もっと触れる機会の多い仕組みにしていくのがそういうきっかけをつくる方法なのかなと思いました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

◎岡田委員 1つ、もしどこかに書いてあったら申し訳ないのですが、無作為抽出はどれぐらい出して、どれぐらい返ってきたのでしょうか。

◎事務局 お知らせを300通送らせていただいて、7人の方からいただいたような状況でございます。

◎岡田委員 ありがとうございます。私も無作為抽出の通知が届いたことをきっかけに参加した者の一人なのですが、実際インターネットの情報は流し読みをしていることが多く、無作為抽出という形でそういうお知らせが届いて、ゆっくり眺める時間があるということが重要なのではないかと感じました。例えば若者MIRAIトークに参加された方にそのまま残っていただいて、定期的にこのような機会を設けていると、都度参加者が増えていくような形で、世代を越えて参加したことがある方が増えていくと思っています。そういった意味でも、今回は本当に入り口の部分で大成功だったと思います。先日、若者MIRAIトークを拝見して、若者の皆さんのアイデアを聞いて、小さな都市開発の会社に来て意見を聞いているような気がした

くらいにわくわくしまして、一つのをみんなでつくり上げていく喜びみたいなものをすごく感じました。なので、ぜひこのような機会を継続していただけたらいいのではないかと思います。

また、どこかのページで、最後、満足には至らなかったという方が2名いたことについてです。私が見ていて感じたのは、最後、発表が盛り上がったこともあって、時間が少し押していて、発表の一部を割愛した場面がありましたね。そのあたりが影響しているのかなと感じました。個人的には、できれば皆さんの意見を全部聞きたかったと感じました。

◎繁田委員長 振り返りの部分、少し時間が足りなかったですね。

◎岡田委員 そうですね。少し足りなかったところがありました。

◎繁田委員長 まだまだ言いたいことがあったかもしれませんね。ありがとうございます。

◎鴨下委員 私も、若者の皆様のアイデアの豊富さと、これからの未来を考えていく夢がいろいろと出てきて、とても楽しみだなと感じました。今回の趣旨とはずれてしまうかもしれませんが、間口を広げて続けていくためには、せっかくあれだけ考えてやってくれた皆様の気持ちを何らかの形にしていくことができると感じました。

また、事後アンケートの各種市民参加機会の参加意向の「どちらとも言えない・検討中」が8名います。これは、無作為抽出が、もともとはそこまで何も興味なかったけれども参加した、その後、どっちになったのかということが気になります。公募で参加された方は何らかの興味があってもともと来ていらっしゃるし、自分から能動的に市報などいろいろな情報を集めてそこにいらしている方だから、それは「参加する・興味はある」に変化するだろうということは想像に容易いのですが、無作為抽出がどう変化したのかなということが気になりました。

◎繁田委員長 そのデータについては後日、お調べしていただきたいと思います。山野井さん、何か感想などありますか。

◎山野井委員 私はこのMIRAIトークは参加していないのですが、同世代でこんなに小金井市のことを考えてくれている若者がいるということにとっても感激しました。ただ、どういう取組をやっているか、全然分からないので、SNS、XとかInstagramを活用して発信していくのと、小金井市も堅苦しい情報だけじゃなくて、イベントとか有名なグルメとか場所とかを載せながら、興味を惹くようなSNS運用が必要なのかなと感じました。それから、傾向的にはオフラインの満足度は高かったですが、コロナ禍もあったので、オンラインのほうが話しやすいとか意見を言いやすいという若者も多いと思うので、インターネットでできるアンケートも活用していくといいと思いました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。中村委員、お願いします。

◎中村(彰)委員 私はこのイベントの3回目を拝見させていただいて、あえてちょっと失礼な言い方をすれば、初めは若者たちもやらされ感というものでいっぱいだったと思うのですが、恐らく2回目、3回目と回を重ねるに従って当事者意識というのが醸成されて、私が参加させていただいた3回目には、かなり練られた、いい発表だったと思います。プレゼンテーション

も大変見事でしたし、3回という短期間であれだけの内容をよくまとめ上げたと思い、本当に感心しました。ですから、結果的に、私は今回の試みは大成功だったと、効果的であったと思います。それはなぜかという、ちょっと堅い言い方をしますと、シチズンシップを醸成する、高める上で、このイベントは大変効果的であったと思います。あとは、やり方次第で、工夫して、お金をかけないでやる方法、方策があるのではないかなというふうに個人的には思いました。

あと、先ほど岡田委員がおっしゃったように、今回のようなイベントを実施することは非常に効果的だと思っているのですが、継続して実施する上でも、あまりお金をかけない方法を取ることも可能じゃないかなと思いました。

それと、私は、明るい選挙推進委員会という会に属しているのですが、現在の若者の投票率というのは低いわけです。こういったイベントを開催することによって、それが間接的に若者の投票率を上げることにもつながるような気がしました。ですから、こういった試みは、お金をかけないでどんどん回数を増やしてやっていただくのがいいのではないかなと思いました。

◎北村委員 私も若者討議会を拝見しましたが、各グループが盛り上がった討論、発表をしてきていたと感じました。これは、3日間、同じメンバーで議論を深めたことでグループとしての一体感が出たのではないかと、盛り上がったワークショップであったということ、まず感想で持たせていただきました。

それで、今、アンケートについての説明がありました。重複いたしますけれども、やはり前と後ろでは、意識について、明らかに前向きになっているといえそれから、参加後には、アンケート結果でも「興味が湧いた」「どちらかといえば興味が湧いた」が全員になっているというところも大変よかったと感じています。

また、先ほどビデオを拝見しましたが、若者たちが一生懸命取り組む姿が生き生きとしていて、大いにこれからの可能性を感じるなど改めて思ったところがございます。

今回新たに分かった課題などについては、これから市役所内でいかに共有して、どうしたら若者たちが参加してくれるのかということを引き続き各担当課が考えるいい材料になったのではないかと考えております。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

◎水落委員 さっきの動画からもにじみ出ていましたけれども、各グループ、熱心に討論や発表をしていただいて、本当に有意義なイベントだったなと思いました。若者たちが真剣に小金井のことを考えてくれたというのを感じられて、本当によかったなと思えます。今後も、こういう若者世代の意見や思いをどういうふうに市政に反映していくのかということが、小金井にとっても、とても大切なことなのかと改めて感じた次第でございます。

また、若者たちが市民参加につながるきっかけをつくっていくための情報発信について、市としても、どういったものがいいのかということも、引き続き考えていかなければいけないな

と思ったところでございます。

◎繁田委員長 皆さん、本当にありがとうございました。私は大学で若者に教えているのですが、若者たちが真剣に議論し発表する姿、素晴らしかったです。よく3回であそこまでまとめさせましたね。

◎ファシリテーター ありがとうございます。

◎繁田委員長 いい意味でファシリテーターの方の話術にみんな巻き込まれましたね。やっぱり参加してよかったという声が多かっただけあって、1回目と3回目で若者の表情が違いましたね。いい問題提起になったのではないかと思います。中村委員がおっしゃっていたようなお金をあまりかけないやり方についてですが、私は、アプリとポイント制かなと思いました。岡田さんはポイントを貯めていますか。

◎岡田委員 貯めています。

◎繁田委員長 今皆さんが共通しているのはポイント。アプリやカードで皆さん活用されていますよね。アプリも開発したりして。山野井さんが言われたように堅苦しい市報じゃなくて、もっと柔らかい内容を。堅い市報は御年配の方が読んでおられる。逆にアプリは読めない、分からない。だから、そういう世代やターゲットに合わせた媒体や内容をうまく工夫していく必要がありますね。あとは、鴨下さんが言ったように、1回参加した方のささやき、よかったよとか、勉強になったよとか、いい経験になったよという人からの情報というのは、やっぱり大事ですよ。それがどんどんと広がっていくといいと思います。今回は単発ではありましたが、市政に興味関心を持っていただくようないい機会になったのではないかなという気がしております。最後の日は、聞いていて本当に気持ちがよかったですよね。皆さん方、どうもありがとうございました。

◎事務局 ファシリテーターの齋藤さんから、補足をお願いします。

◎ファシリテーター 小金井市在住15年ぐらいです。最近引っ越しまして、引っ越し先も小金井市でございます。所感ではありますが、ここにいる事務局の皆さん、委員の皆さんが、若者に入り込みやすいようなテーマは何か、事前準備を一緒にやらせていただいたのが一番よかったと思っています。

あと、リーダーシップを裏のテーマとして持っていました。若者MIRAIトークの1回目のときに、やりたいことを発表してもらってしまして、それだけでなく、挙手制で班を引っ張っていくリーダーを決めています。その人が、あれだけの短時間で、じゃあ何かやろうという着火をしたということです。私がファシリテーターだったのですが、そういう人たちを見つけてすくい上げて、その人たちができるという部分を後押ししたわけです。これは皆さんがこれからやろうとしていることとほぼ同じだと思っています。

◎繁田委員長 これがきっかけにいろいろな輪が広がっていくのがいいかなと思います。ありがとうございました。

◎事務局 事務局から補足をさせていただきます。この会をきっかけに、活動を始めてくださ

った方もいらっしゃるよと伺っております。

◎繁田委員長 朝カフェですね、あれはすぐにでもできるのではないかと話をしてはいたけれども、本当に実現したのですね。

◎事務局 多くの皆さんから、この催しについて継続をしていくとよいという御意見をいただいたのですが、小金井市に総じてある課題というふうに認識をしております。これを当課だけで進めていくというよりは、市役所内で事業を進める際に、広く若者向けの催しなどを留意して取り組んでいくことも一つ重要なのではないかと事務局としては考えたところでございます。

◎繁田委員長 色々ご意見ありがとうございました。

---

◎繁田委員長 続きまして、次第の2、今後の提言に向けてです。今後の提言についてですが、第8期と同様に、提言の作成は副委員長の金尾委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎繁田委員長 ありがとうございました。それでは、事務局より説明をお願いします。

◎事務局 令和6年の秋頃に御提言をいただきたく、スケジュールを進めていきたいと考えてございます。

提言の骨子案を正副委員長と事務局で作成し、次回の会議に皆様にお示しをしたいと考えております。骨子案とは、これまで皆様からいただいた御意見を提言にまとめていくに当たり、大まかな骨子をまとめたものとして、提言にどのような内容を載せていくのかを整理したものを予定してございます。

本日を含めまして、あと3回の会議で提言をまとめてまいりたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

◎繁田委員長 本日、皆様からいろいろと御意見をいただきましたけれども、今日の結果を基にまとめた骨子案について、次回、皆様に御確認いただくということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎繁田委員長 ありがとうございました。以上で、次第2、今後の提言に向けてを終了いたします。

---

本日最後の議題でございます。次回推進会議の開催日についてということで、事務局からお願いします。

◎事務局 今後の予定につきまして、資料4、第9期市民参加推進会議行程表を配付させていただいております。次回は5月頃の開催を予定しております。日程については、また改めて調整をさせていただきたいと考えております。

◎繁田委員長 その他、何かある方はいらっしゃいますでしょうか。

(「なし」の声あり)

◎繁田委員長 それでは、これもちまして、第68回市民参加推進会議を終了します。  
(午後7時50分閉会)